

熱帯感染症勉強会

Case 102 高熱と構語障害を来した ソマリア難民の16歳男性

発熱・悪寒・頭痛・全身痛を主訴に救急外来を受診。ソマリア出身で、リビアでの長期滞在後、約150人の移民とともに地中海を渡り、ドイツへ到着。過密環境での生活歴あり。来院時、39.5℃の高熱、頻脈、脱水、軽度黄疸、意識応答の遅れを認めた。皮疹はなし。検査では白血球増多、血小板減少、炎症反応高値を認め、マラリア迅速検査は陰性であった。果たして診断は？

日時：4月10日(金) 7:20~8:00
オンライン開催

参加希望の方は下記までご連絡ください。
E-mail: kansen@ml.nagasaki-u.ac.jp
内線：7506
総合感染症科・感染症医療人育成センター



IDETC
Nagasaki University Hospital
Infectious Diseases
Experts Training Center

